

ネイチャーリーダー講座

身近な自然を守り・育て・伝える
ノウハウを学ぼう

講座では、区内のビオトープを意味するポケットエコスペース(PES)の管理方法や自然環境調査を体験し、自然保護活動を行うために必要な知識と技術を習得できます。経験のない方も楽しく参加できます。

時 左表のとおり **場** 東京環境工科専門学校(墨田区江東橋3-3-17)、潮見さざなみ公園PES(潮見1-29先)、えみでます。

※区ホームページからも申し込みできます。

日時	内容
10/7(火) 19:00~20:30 【講義】	開講式・導入「都市の生物多様性と市民活動」 師 佐藤留美(NPO法人birth)
10/12(日) 9:30~15:30 【観察】	「都市のみどり・江東区の自然・私たちの活動」 師 阿河真人(NPO法人ネイチャーリーダー江東)
10/26(日) 9:30~12:00 【講義・観察】	「PES環境保全実習(第1回)~環境管理作業の実態」 師 (NPO法人ネイチャーリーダー江東会員)
11/1(土) 9:30~12:00 【講義・観察】	「PES環境保全実習(第2回)~身近な自然の調べ方」 師 尾坂尚之(水研クリエイティブ)
11/7(金) 19:00~20:30 【講義】	「自然を守り育てる考え方・保全生態学の基礎」 師 須田真一(東京大学大学院特任研究員)
11/9(日) 9:30~12:00 【講義・観察】	「PES環境保全実習(第3回)~自然の大切さの伝え方~(1)」 師 (NPO法人ネイチャーリーダー江東会員)
11/16(日) 9:30~12:00 【講義・観察】	「PES環境保全実習(第4回)~自然の大切さの伝え方~(2)」 師 (NPO法人ネイチャーリーダー江東会員)
11/21(金) 19:00~20:30 【講義】	話し合おうこれからのこと・閉講式・キックオフ懇親会 師 志村智子((公財)日本自然保護協会)

秋から始まる 平成26年度新規講座受講生 文化センター等8館で募集中

区内各文化センターと総合区民センターでは、この秋から始まる新規講座の受講生を募集中です。教養、手工芸、絵画、散策、語学などのほか、親子で参加できる講座など多彩なジャンルの139講座を開講予定です。募集案内は、新聞折込等で届けている「カルチャーナビ」

時 9月24日(水)必着(砂町文化センターで実施する講座を除く。詳細はお問い合わせください)

場 各文化センター等へ

施設名	電話
江東区文化センター(東陽4-11-3)	3644-8111
森下文化センター(森下3-12-17)	5600-8666
古石場文化センター(古石場2-13-2)	5620-0224
豊洲文化センター(豊洲2-2-18)	3536-5061
亀戸文化センター(亀戸2-19-1カメラプラザ5階)	5626-2121
東大島文化センター(大島8-33-9)	3681-6331
砂町文化センター(北砂5-1-7)※	3640-1751
総合区民センター(大島4-5-1)	3637-2261

※9/30(火)までは改修工事のため、仮事務所(江東区文化センター内、☎3644-8111)

秋の秋に、さまざまな展示・大会が開催されます。区民の皆さんによる芸術作品をどうぞご覧ください。

※出品料や作品規格等の詳細は、各文化センターに設置の募集要項をご参照ください。

時 9月23日(火・祝)~11月8日(土)

場 下表のとおり

場 江東区文化センター(東陽4-11-3)

☎(3644)8111

秋の秋に、さまざまな展示・大会が開催されます。区民の皆さんによる芸術作品をどうぞご覧ください。

※出品料や作品規格等の詳細は、各文化センターに設置の募集要項をご参照ください。

時 9月23日(火・祝)~11月8日(土)

場 下表のとおり

場 江東区文化センター(東陽4-11-3)

☎(3644)8111

音声ガイド付きで小津安二郎監督の「小早川家の秋」(1961年制作※35ミリフィルム)を上映します。映画音声ガイドとは、目の不自由な人の映画鑑賞を音声によって手助けするもので、映画の登場人物の動作や場面状況を、もともとセリフや想像の邪魔にならないように配慮しながらシナリオ化し、上

時 9月27日(土)「昼の部」午後2時開演「夜の部」午後6時開演 **場** 古石場文化センター **料** 全席自由500円(付き)

江戸の人々の暮らしを支えたさまざまな物売りや、街角を賑わせた大道芸を、常設展示室・江戸の町並みの中で再現します。夜明けと共に訪れる「あさり売り」や季節の風物詩「金魚売り」「心太売り」など、江戸の賑わいを解説つきでお楽しみいただけます。

時 9月20日(土) ①午後1時~1時40分 ②午後2時半~3時10分 **料** 大人400円、小学生50円(観覧料)※小中学生は保護者同伴 **場** 当日直接会場へ **場** 深川江戸資料館(白河1-3-28)

☎(3630)8625

添いの方も同額 ※音声ガイドご利用の方はお申し出ください

監督 小津安二郎 **出演** 中村錦太郎、原節子、司葉子ほか

場 古石場文化センター(古石場2-13-2)

☎(5620)0224

江東シネマプラザ

映画「小早川家の秋」音声ガイド付き上映会 9/27(土)

深川江戸資料館 伝統芸能公開 「江戸の物売り」と庶民芸」 9/20(土)

催事名	展示・大会日程
美術展	9/23(火・祝)~28(日)
手工芸展	9/29(月)~10/5(日)
書道連盟展(一般)	10/7(火)~13(月・祝)
教育部展(こども)	10/18(土)・19(日)
華展	10/19(日)
茶会	10/20(月)~26(日)
川柳作品展	大会 10/26(日) 展示 10/29(水)~11/3(月・祝)
短歌大会	10/26(日)~11/8(土)
菊花展	

※俳句大会は中止になりました

人権週間にもむけて②

インターネット上の日記や画像を掲載する人が増えていきます。人と人がつながりやすくなり、距離や時間の枠を越え、私たちに新しい世界をもたらしました。

特に、ラインやフェイスブック、ツイッターなどのSNS(ソーシャル・ネットワーク・キング・サービス)は、友人・知人との輪が広がる便利な機能があり、日々のコミュニケーションを容易にしてくれます。

しかし、利用が進む一方で、安易な書き込み等が他の人の人権を傷つけることもあります。

発覚しにくい「ネットいじめ」

一部の子どもたちの間では、SNSでグループ設定した仲間内で、無視や悪口、写真の流出などの「ネットいじめ」が行われ、自殺や殺人に至った事件も報じられています。

グループ間という閉じられた世界でのいじめは、外部から発覚しにくいという、エスカレートする傾向にあります。

リベンジボルの被害は深刻

フラれた腹いせに交際して

いた相手の裸の画像等をネット上に流出させる、いわゆる「リベンジボル」が社会問題になっています。

被害の多くが若年層の女性だと言われます。相手に嫌われたくない、信じているから大丈夫だと画像等をやりとりするのは大変危険な行為です。

一生苦しむネット被害

画像や文章がネット上に流出すると、コピーが転々と急速に拡散し、そのすべてを削除することは極めて困難です。掲載する側がほんのささいな気持ちでも、情報が残る限り、被害を受けた人は将来にわたって苦しむ続け、重大な人権侵害となります。

ネット利用の自覚と責任

お互いの顔は見えなくてもネットつながった先には心のある生身の人間です。そのことを絶対に忘れないてください。

また、発信者が特定できないから何をしても構わないと思うのは間違いです。捜査機関による発信者の特定は可能です。匿名の書き込みであっても責任が生じることを常に自覚して利用しましょう。

場 人権推進課人権推進担当

☎(3647)1164